

5 月植物観察会

5 月 6 日 (土) 9 時~12 時

自然保護グループ 笹崎三雄

本日は雨の予報だったが、晴れ間もあり暑くもなく観察会には良い天気。リーダーの私 (笹崎) が本日も持って退会することになったため、最初にその経緯を説明した。リーダーとして最後の観察会は、参加者 12 人となった。

あぜ道コースだけの案内となったが、見頃を迎えた絶滅危惧種のイシモチソウやピンク色の花が目立つユウゲショウなどを観察した。その後「湯の華食堂」で楽しい茶話会となった。



退任する笹崎さんを囲んで

今後 (6 月以降) は、現サブリーダーの水野さんがリーダーに就任。当面は試行的に観察会開催の予定。本日まで観察会に参加された皆様、ともの会のすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

帷子小鳩吹山登山支援

5 月 10 日 (水) 9 時~15 時

地域支援グループ 柿元章吾

帷子小学校 4 年生約 100 名と先生 7 名のパーティーを、ともの会 14 名で支援を行った。児童は 4 組、ひとつの組を二つのグループに分け、それぞれに 2 名のともの会スタッフを配置する計画だったが、ともの会のスタッフが 2 名足らず、4 組は 2 名だけで対応した。

10 数人程度の少人数のグループだと、子供たちともコミュニケーションが取りやすく、説明もしやすい。これは私が、霧ヶ峰で登山ガイドとして東京の小学生を案内する時のスタイルだ。今回、このグループ分けがうまくいっ



カタクリ保護エリアで、カタクリの蕾を観察しながら行く

たと思う。また、水分はペットボトルを持ってこよう指示をした。重たい水筒を持って登るのは大変だからだ。

真禅寺登山口に 9 時過ぎの予定だったが、少し早く児童達は到着した。トイレに時間がかかったが予定通り、各グループごとに時間差で出発。ルートはいつもの通り。真禅寺登山口⇒西山登山口⇒西山ルート分岐⇒鳩吹山方面 (西山休憩舎方面には行かない) ⇒鳩吹山頂上 [昼食]⇒真禅寺ルートで真禅寺登山口へ下山・解散だ。

よく晴れた登山日和だったが、思いのほか気温は上がり快適な登山となった。頂上で思い思いに昼食をゆっくりと摂り、予定通り下山。事故や怪我もなく無事、真禅寺までお届けすることができた。その後ともの会スタッフは、カタクリの種採取をおこなった。

後日、学校から子供たちの文集と、謝礼をいただいた。謝礼は活動費として大切にに使わせていただきます。



子供たちの文集と謝礼

戸倉山山行

5 月 17 日 (水)

登山グループ 高島 勝



落ち葉が敷き詰められた優しい登山道

伊那富士と呼ばれ、2 つのピークがある伝説の山、「戸倉山」へ登った。参加者は 23 名であった。当日「下界」は 30 数度の真夏日となったが、山頂は暖かく、風も爽やかな快適な登山を楽しめた。2 時間強の上りであったが、足元は落ち葉を敷き詰めたような足にやさしい登山道だ。カラマツ・ダケカンバ・ブナ等の美しい樹林帯を見ながら、セミや野鳥の鳴き声を聴きながら楽しく登れた。東峰山頂での昼食タイムは眼前に広がる仙丈ヶ岳や甲斐駒ヶ岳、北岳等の山々を見ながら昼食と会話を楽しんだ。帰路には駒ヶ岳 SA で今日の気温にピッタリのソフトクリームも堪能できた。

土田小カタクリ自然学習

5月18日(木) 9時～11時

地域支援グループ 柿元章吾

快晴で暑い日となった。土田小学校3年生約100名と、との会15名、大脇老人会7名のサポートを得て開催された。カタクリの種は事前に採取したが、今年は少なかった。



ヤマザクラの巨木の前で行われた「森の教室」

さて、「カタクリの講話」からスタート、私と上野さんで対応。児童はよく話を聞いてくれた。その後、各グループに分かれて種をまくことに。これまでは我々が種を掃除し、個包装で一人ひとりに渡していた。しかし、私が種を掃除している時に気づいたのだが、小さな種の塊から驚くほどたくさんの種が出てくるのだ。これがまた面白く、子供達にも是非体験してもらいたいと思った。そのため、種の掃除はほどほどにして、グループに1つの袋で渡すことにした。これは、子供達にも意外に好評だった。種の仕組みを肌身で感じられたと思う。



種をまく児童たち

種まきもみんな楽しんで行った。アリが種を運ぶ様子も観察した。

終わりの会では、観光協会からよく冷えたオレンジジュースの差し入れもあり、子供達は大喜びであった。

ササユリ自生地の細竹柵補修

5月25日(木)

環境保全グループ 高島 勝

会員14名、市観光課2名が参加し、ササユリ自生地(2か所)の細竹柵交換作業を実施した。前に設置した細竹柵が老朽化したので、新しい細竹に交

換した。合わせてササユリ保護の看板も交換した。これから咲くササユリがきれいな環境で楽しめるようになった。また、イノシシ被害防止のため、イノシシ忌避剤も散布した。ササユリ自生地に近づかないよう祈りたい。



柵の設置作業

6月植物観察会

6月3日(土) 9時～12時

自然保護グループ 水野可律子

笹崎前リーダーから水野がリーダーを引き継ぎ、新しい体制で再出発した植物観察会。新メンバー2名(岩崎志津子・吉田勝子)を含む参加者11名で開催。大雨の翌朝で危険なため、城山コースは避けた。

木曽川コースでは、大雨の直後だけに出現するという「幻の池」が観察できた。また、例年のごとく「ユキノシタ」が土堤を綺麗に飾っていた。



幻の池

あぜ道コースでは、昨年9月に初めて観察できた絶滅危惧種の「ミズオオバコ」が咲きそうな田んぼを下見して、今年の9月の観察会への期待に胸を膨らませた。

野坂岳山行

6月21日(水)

登山グループ 水野可律子

夏至当日の今回の行き先は、福井県敦賀市に聳える野坂岳(913.3m)で、「敦賀富士」とも呼ばれている。参加者は21名(男性8名/女性13名)。

野坂いこいの森に8時に到着し、登山開始。最初は急勾配の上りが続いたが、適度に吹く風が頬に心地よかった。途中、「行者岩」に寄り、スリルを味わいながらの麓の眺めは、まさに壮観。後半は緩やかな上りになり、コアジサイ、紅白のヤマボウシ、ブナ林等に癒やされながら、11時に登頂。

曇りにも関わらず、頂上では360度の展望がきいた。しかし、強風が吹き、寒いため、集合写真を撮ただけで、少し下の小屋まで下った。小屋の内外で昼食。小屋の寒暖計が17.5℃を指していた。野外での体感温度はもっと低く、昼食後、早々に下山開始。

下山後、敦賀市にある「日本海さかな街」で、福井県名物の「焼き鯖寿司」等を購入し、楽しかった一日に感謝しながら帰路に就いた。



スギの巨木が連なる樹林帯を行く

これからの活動予定一覧

【環境保全 G 高島 勝】

- 登山道整備 真禅寺P / 9時集合
- ・8月は休み ・9月28日(木)

【登山 G 山田栄雄】

- 天蓋山/テンガイサン(飛騨市)
- ・8月9日(水) 帷子地区センター / 6時集合
- 富幕山/トンマクヤマ(浜松市)
- ・9月20日(水) 帷子地区センター / 6時集合

【パトロール G 芦田典子】

- パトロール 真禅寺P / 9時集合
- ・8月は休み ・9月13日(水)

【自然保護 G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリP / 9時集合
- ・8月は休み ・9月2日(土)

【事務局・その他】

- 連絡会 土田地区センター / 9時半集合
- ・8月3日(木) ・9月7日(木)

【5月23日】

可児市観光協会様から寄付金をいただきました。

【5月27日】

可児市青少年育成市民会議様から表彰状をいただきました。



【鳩吹山との会 連絡先】

Phone : (西川)

e-mail :